

5周年記念特集 ベイタウンニュースを配っているのはこんな人

5周年記念特集は何にしようか? そうかも5年か、早いなあ。ニュースは作るより配る方が大変だったな。いっそ、特集は毎月ニュースを配ってくれているベイタウンニュースサポーターのみなさんの紹介記事にしよう。今月の一面企画はこんな編集会議のやりとりから生まれました。サポーターは現在35人。そのなかから無作為で7人を選ばせていただき、インタビューと記事執筆を同じくサポーターの北村さんと北田さんをお願いしました。

■角幡玲子さん (パティオス6番街)

「ここは図書館だからヒソヒソ声でお話しましょうね」。打瀬分館の非常勤職員として、図書館文化に不慣れな親子に優しくマナーを教えてくださいださるのは、双子の息子さんとお嬢さんを育てながら、ベイタウンの街開きから歩んできた角幡さん。創刊号から大切にファイルしていたベイタウンニュースのサポーターには二年前から。

その他エコパークをつくる会や、寺子屋ベイタウンの事務局に関わったりとご活躍。今後もユニークな視点からの記事掲載を期待しつつ、6番街のサポーターの相棒を大募集中です。



くまでも楽しみながら住民との交流を実践中。入居を決めたのは、関西からの転勤が決まった際の情報収集。

「ベイタウンネット」を通じて知った新しい街の人たちは、性別・年代を超えて同じ目線で話してくれる親しみやすい人達だった。可能性を秘めているこの街に目をつけた彼は、入居前からイベント等にかかわってきた。入居してすぐのベイタウン祭りでは実行委員長を引き受け、当日雨も一緒に連れてきた。

人生最大イベントの結婚式では台風が接近し、暴風雨となった彼。東の街からベイタウンに吹き込む新風になるか? ご期待ください。

注: グランパティオス東の街ではベイタウンニュースを持ち帰って居住者による配布会を行っています。今回はその方々を代表して佐藤さん、樺田さんのお二人にご登場いただきました。



ウンオーケストラでは弦楽器が不足気味。今一番言いたいことは「ベイタウンオーケストラに入ってください!」との事でした。

■北田美香さん(シータワー)

海浜公園で出会う穏やかな優しい『岳ちゃんママ』。ご主人と仲良しで、料理と掃除は得意! ゴルフが趣味の優雅な奥様ね... と思っていたら... セントラルパークのおはなし会では読み聞かせを担当。嵯峨御流のお花の先生



もしている。保育園主任経験者で、幼児教育はN.Y.の大学院で修士を取得。出産前はテクノガーデンにある気象情報会社の社長秘書。

そしてその昔、証券業界初の女性トレーダーとして日経新聞など金融界を賑わせていたのは彼女でした。まさに「怪人二十面相」。まだまだ書ききれないほどの顔を使い分けています。皆さんが出会うときは、どの顔でしょう。

■佐藤徹太郎さん (グランパティオス公園東の街)

東の街でコミュニティー活動を楽しんでいた佐藤さん。ある日「ひまわりの種植えの会」に参加した際、熱心に種を配りスコップ片手に指導する「区役所の人」に感心。実は役所の人



↑佐藤氏(左)と樺田氏

ではなく、ベイタウンニュースの松村さんだと紹介され、行動する姿勢に共感。活動の場を拡大すべく、中年バンドメンバーとして各種イベントで裏方を担当。

数多くのサークル活動を間近で見る佐藤さん、ニュース紙上でのサークル紹介コーナーを提言中。ベイタウン祭りでは、中年バンドのビートルズ・ユニット「桃屋500/1」のメンバーとして出演予定。

■樺田直樹さん (グランパティオス公園東の街)

嵐を呼ぶ男、樺田直樹。彼は東の街でいかに楽しく過ごすかを日々考え、自治快適(自治会的!?)組織の立ち上げに関わり、あ

■佐々木百合子さん (パティオス9番街)

国際派ナースはボランティアに関心がありサポーターに。

『天国まで100マイル』の舞台になった心臓血管センターに11年勤務。そしてカナダへ。ホストファミリーも医療従事者を希望し、積極的に病院を視察。N.Y.のスラム街で働いていた医師とも出会い、ボランティア精神も自然に身についた。ベイタウンに引っ越してきて、誘われるまま自然とサポーターを引き受けていたそうです。



■河野治人さんご夫妻 (パティオス2番街)

街開きと同時に入居し、その月に生まれた双子のお嬢さんたちは今年小学一年生。まさにベイタウンとともに成長。街の成長にも変化にもわが子同様の関心と愛情をお持ちです。街に詳しい河野さんですが、道に迷った友人に道案内するのには苦勞するそう。「マンションの角ごとに番街名をもっとわかりやすく表示するといいいのでは?」

趣味はバイオリン。新しくできたベイト

■北村直子さん (パティオス21番街)

新しい風は21番街から... 今ベイタウンで最も注目のツールペイントは彼女が発信源

です。少女の頃から憧れていた赤毛のアンの世界を実践するため、商社勤めをあっさり捨てて、ツールペイントの世界に飛び込んでもうすぐ10年。春からは、コアと21番街で託児付の教室を主宰しています。



何事にも好奇心旺盛で才色兼備の彼女、昨年末に住人になったばかりというのに、ベイタウンニュース編集部のたつての願いを受けて、3月号では記者デビューも果たしました。今やサポーターの中心的存在になりつつあります。

コアのピアノ募金開始 目標400万円!!

幕張ベイタウン・コアの音楽ホールに導入されるピアノの機種が、イタリア製のフルコンサートピアノ「ファツィオリ F278」に決まりました。募金運動も本格化してきました。皆様のご理解とご協力をお願いします。【コアのホールにコンサートピアノを入れる会】

コアの開館イベントで、「ファツィオリ F278」を試弾した米ダートマス大混声合唱団の指揮者は「すばらしいピアノ」と感想を述べました。人気ピアニスト仲道郁代さんは「私が買いたいくらいです」とベタほめでした。ベイタウンの子ども達もよいピアノへのあこがれを感じたようです。街のコンサートホールに常置されるピアノとしてきわめて妥当だという結果が出ました。

「コアのホールにコンサートピアノを入れる会」（発起人会）は4月21日に開いた総会で、「ファツィオリ F278」を導入機種に決定しました（詳細なレポートはコアのホームページ <http://www.baytown.ne.jp/core/top.html> をご覧ください）。

音楽専門誌「レコード芸術」が取材に訪れ、外部の関心も高まっています。

千葉市はコア音楽ホールのピアノ調達に230万円の予算を準備してくれました。これは公民館のピアノ予算が80万円程度であるのを考えれば「頑張った数字」（担当課）です。しかし、コアのホールが千葉県企業庁によって、フルコンサートもしくはセミコンサートタイプのピアノ導入を想定して設計された（音響設計はサントリーホールなどに参加した永田音響）のを考えれば、この予算額では不十分です。「ハード」（コアの設計）とソフト（ピアノ）がミスマッチを起こしかねません。

私たちは2年間にわたる検討と交渉の末、「ファツィオリ F278」の新品（演奏会で2回使用、録音に1回使用）を今春発掘しました。

新品が1500万円弱であるのに比べると、価格的には半分以上の値段で購入できます。まさに「掘り出し物」です。そして、品質の良さは今回の試弾で立証されました。

募金の目標額は約400万円。早ければ6月段階でメドを付けたいと考えています。資金集めの一環として、5月19日（日）「第1回親と子のための音楽レストラン」、6月8日（土）「仲道祐子、ファツィオリを弾く」、6月23日（日）「天満敦子バイオリンコンサート」が開催されます。すでに約40万円の献金が寄せられ、ベイタウン関連企業団体からも好意的な申し入れが相次いでいます。皆様のご理解とご支援をお願いします。（文責・下川正晴、TEL/FAX 211-0472）
＜ピアノ募金の振込み先銀行口座＞

京葉銀行海浜幕張支店 コア・ホールにコンサートピアノを入れる会
普通口座：419（店番号）2514351（口座番号）



♪♪ ベイタウンオーケストラ誕生 ♪♪

ベイタウンミュージックフェスタで演奏を聴いた方もいらっしゃると思いますが、この街に「ベイタウンオーケストラ」が誕生しました。そこで誕生の経緯など、代表者の石川智久さん（東の街）にお聞きしました。

【浜田】

「私は10年程前にアマチュアオーケストラを一つ創設しています。そのオーケストラは“アマチュアでも高次元で新しい音楽の世界を作ることができる”という理想のもとで、自分の音楽を実現するために創設しました。

ところがやはり現実には甘くありません。どうしても“演奏会を行う・曲を演奏する”ことだけが目的となり、“いい演奏をするためにどうするか”というモチベーションが欠けていってしまうのです。またその時に、技術を持っているものだけが良い演奏をするとは限らない、勉強したもののだけが音楽を知っているとは限らないということも痛感したのです…」
「今回、幕張ベイタウンに音響の良いホールが誕生すると聞いて、再びオーケストラ活動を行うことを考え始めました。そして今度は、以前とは違った考えに基づくオーケストラにしてみようと思ったのです」

ーそれは、どんな考えですか？

「それは市民オーケストラの理想でもある…一つは楽器をやる人ならば経験を問わずに受け入れ“音楽をアンサンブルする喜びを知る”こと。二つにはその活動が地域に受け入れられ、演奏を聴いてもらうことにより音楽の喜びを経験し、そして音楽の素晴らしさを次の世代に伝えていくこと。三つにはアマチュア

であっても人々を感動させる演奏を具現すること。

私にできる事はオーケストラ活動を通じて地域に貢献する事ぐらいしかありません。技術が無くても無いなりに、オーケストラの面白さ、演奏する喜びを伝えていきたい。そしていい演奏ができることを示したいと思います」

ーどんな方法で、団員を集めたのですか？

「今回の立ち上げは全く自分だけの構想で、最初から協力者がいたわけではありません。が、どうすればコアを利用できるか知りたくてコア研に参加し、そしてそれがきっかけで、いろいろな方々と知り合い、その方々のご協力で、ホームページや広報誌への掲載、ラジオ放送などいろいろなメディアで取り上げていただいて、団員を募集することができました。私がしたのは立ち上げの掛け声だけで、後はそういった方々のご協力なしには当初から40名もの団員を集めることなどできませんでした。協力いただいた方々にはとても感謝しています」

ー参加者は、どんな様子ですか？

「中学生から50代頃まで幅広い年齢の方、40名程に在籍いただいています。またベイタウン内に限らず、活動内容に賛同いただき、練習などに積極的に参加できる方にはお住まいの場所を問わず、参加していただいています」

ーいつ、どこで練習していますか？

「ベイタウン内や近くの施設、例をあげればベイタウン・コア、各番街の集会室などです。練習日は基本的に毎月2回、第2土曜、第4日曜です（練習場所の関係で変更はあります）。現在は第4日曜の午後にベイタウン・コアで定期的に練習しています。また、当面の目標として9月に1回目の演奏会をやろうと計画しています（詳細は未定）」

ー今でも、メンバーは募集中ですか？

「弦楽器についてはまだまだ足りないもので、引き続き大募集しています。弦楽器は多すぎても問題ないので、ちょっとでもやってみようかなと思われる方は、他のオーケストラとの兼任でも全く構いませんので是非ご参加ください。また管楽器もパートによっては参加できますので、まずはお問い合わせください」

石川智久（ベイタウンオーケストラ代表者）

Tel：043-274-7532

e-mail：tomohisa0109@gpe-net.org

<http://www2.ocn.ne.jp/~orion/mbo.htm>



Baytown Music Festa

一連の幕張ベイタウン・コア開館記念イベントの「目玉」のひとつとして、Baytown Music Festa、略して『BMF』が開催された。2日間の熱気あふれるステージを、写真と事務局長の柴崎さん（17番街在住、ベイタウン中年バンドマスター）への一問一答でのインタビューでお伝えしよう。【板東】

ー BMF を企画したきっかけは？

「ベイタウンに移り住んだときから、新しい文化——私の場合は音楽——の芽を育てたかった。この街でエジンバラ音楽祭のような、国際的な音楽祭を開けたら良いな、と思っていました。そして、この趣旨に賛同してくれた人たちで作った『ベイタウン中年バンド』が母体となり、ベイタウン祭りでの生演奏など、各種活動をしてきました。その流れで、コア開館に合わせて、この企画を進めるようになりました」

ー どのように出演者が集まってきたのでしょうか？

「主に、ネットおよびベイタウン住民による口コミです。最終的には、プロ3グループを含めた40グループが集まり、後から来る希望者を断るのに苦労しました（笑）」



▲『みんなで歌おう』。僕たち・私たちだって主役です。

ーユニークな出演者を紹介して下さい。

「まず、シルバーパワーのすごさを感じました。また、両親、子供がそれぞれ別のステージに立つ、という音楽一家もありました。音楽祭なのに、腹話術という演目もユニークでしたよね。人形も歌ってくれました（笑）」

ー 終えてみての感想は？

「この街はすごいなってことを再認識しました。ちょっと声をかけただけで、これだけの芸達者たちが集まってくる。今回の40の出演者は、それぞれで一つの独立したイベントを開催するだけの力を持っている。ということは、40の新たなイベントができるということです。音楽以外にも、掘り起こせばもっともっとたくさんのタレントがいると思います。また、今回ジャンルを超え、年齢・性別を超え、プロ・アマ問わず、出演者として、スタッフとして関わることができたのは意義があったと思います。出演者同士、出演者と聴衆の交流もできた。いわば大きな学芸会でコミュニケーションの輪が広がりました」

ー 次もやります？

「（力強く）やります。ただし、今はやり終えた感動で白く燃え尽きた状態。さぼってた家族サービスもしなくっちゃね（笑）。その時期が来たら考えます」

ー お疲れさまでした。次回も楽しみにしています。



▲若さあふれる演奏で聴衆を圧倒した、『打瀬中学校吹奏楽部』



▲『栗本修とKRONIZCK』
冴えるプロの技。



▲『R&W（リコーダーバンド）』
お母さん達も負けてはいられません。

こども・まち・がっこう

シリーズ Vol.2

「週休二日」で父親の出番がふえる！

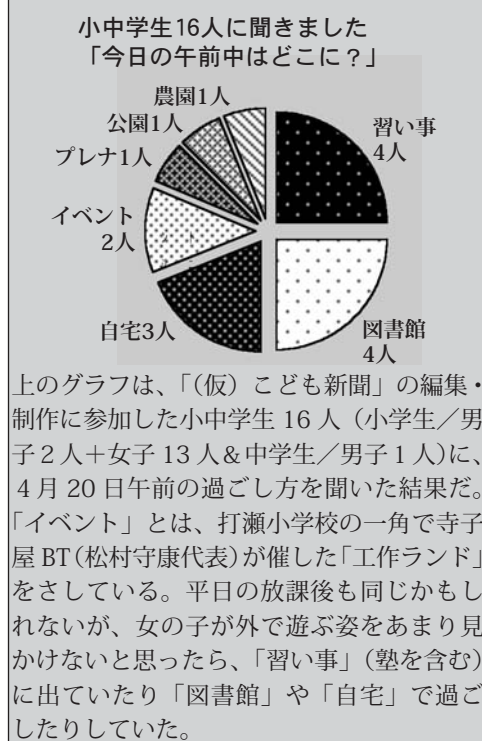
小中学校が「週休二日」になってひと月たった。昨年度までも第二・第四土曜は休みだったので、子どもの過ごし方がそう大きく変わるとは思えないが、マスコミでいろんな取り上げ方をするものだから、つつい気になる。入学式を済ませ学校が本格稼働し出して初めての“新しい休み”にあたる4月20日土曜日。ついこの間まで学校のあった午前中を子どもたちはどう過ごしているのか。ベイタウンでの様子を報告する。【茂木】



昼までの3時間、自転車こぎこぎベイタウン中を走り回った結果は、下の「記録」のとおり。なにより印象に残ったのは、父親相手にキャッチボールをしたりノックを受けたりする子どもの姿が多かったことだ。

ふだん学校が始まる8時過ぎから打瀬小学校のグラウンドで小学2年生の息子さんとキャッチボールをしていた門真吾さんに、少しの間、手を止めてもらった。勤め先は週休二日なので土曜日は原則として休みとのことだ。「キャッチボールはこれまでも休みのときにはよくやっていました。ふだんはふれあう機会が少ないので、こういう機会がふえるのはいいですね。9時くらいになったら妻が来るので、そしたら一緒に図書館に行こうと思っています」。

なるほど、土曜日が休みの父親には学校週休二日は願ってもないチャンスだろう。これでまた、野球人気が増すかもしれない。



記録●4月20日（土）午前

ベイタウンをめぐる

これまで学校にいた時間帯を小中学生はどこで過ごしているのか。9時前から正午前にかけての3時間、街なかで姿を追求めた。結果、外で遊んでいるのは男の子が圧倒的に多いこと、休日ならではの遊び方の代表格として「父親と野球（キャッチボールをしたりノックを受けたり）」を挙げられることがわかった。

○8:45 @打瀬小◆テニスをする中学生の男子1人、野球をする親子（父親＆男児）2組。隣の公園はカラ→○9:00 @1丁目公園◆だれもいない→○9:10 @図書館◆女児1人→○9:15 @第2（赤玉・青玉）公園◆だれもいない→@2丁目公園◆男児2人→@海浜打瀬小◆サッカーをする男児1人→○9:25 @打瀬中◆グラウンドには人の姿なし。周囲を走る中学生の男子数人→○9:30 @海浜打瀬小◆男児2人→○9:35 @打瀬小◆だれもいない→○10:00 @打瀬小◆1年生の教室前で「工

作ランド」。男児と女児13人ずつ→○10:30 @打瀬小◆野球をする親子（父親＆男児）→○10:35 @2丁目公園◆父親＆男児のペアが3組。野球やサッカーを。ほかに、サッカーをする男児3人→@第2公園◆野球をする男児4人。テニスをする男児3人→○11:00 @1丁目公園◆野球をする親子（父親＆男児・女児）3組。男児・女児各2人のグループや、自転車でやってきた男児2人の姿も→○11:30 @図書館◆9時30分過ぎから混んできた様子。女児を中心に多数

藤村 修三さん

ここに一冊の本がある。タイトルは「半導体立国ふたたび」。著者は藤村修三さん。パティオス1番街にお住まいの方だ。本の内容は物理学者の藤村さんの著書らしく、きわめて論理的に日本の産業再生の処方箋を半導体というご自分の専門分野を例に述べている。一昨年出版されたこの本は昨年日経 BP BizTech 図書賞という賞を受賞した。

藤村さんは不思議な人だ。これほどの専門書を書き、学会で半導体プロセスに関する理論を発表する一方、米国シリコンバレーに会社を持ち、ご自分の発明（特許）を使ったビジネスも行っている。藤村さんの発表した特許は現在半導体製造分野の極めて重要な部分をなしている。

そんな藤村さんは、最近一橋大学大学院に客員教授として招かれた。だが専門の物理学の教授ではなく、経営学の教授としてだという。新学期の始まる10月から「ベンチャーファイナンス論」という講座を受け持つ。国立市の一橋大学に研究室を持ちながら、シリコンバレーでのビジネスの夢も持ち続けるという。客員教授という肩書きについて言えば、ビジネスを含め、大学外での活動が自由に行える客員の肩書きにこだわった結果だそう。

半導体製造関係の特許を多数持ち、名門大学で経営学を教える一方、シリコンバレーでもベンチャービジネスを行う。こう書けば、彼は並はずれて頭の良い、どこか異なった世界に住むマルチな人、という印象を持たれそう。だが藤村さんに本紙に登場していただいたのは、そんなステレオタイプの現代的な実業科学者としての理由からではない。

「学生時代はほとんど勉強した記憶がない」と藤村さんはいう。小さい頃から読書は好きだったが、特に理科少年だった訳でもない。高校こそ都立の進学高校に進んだが、全科目

を合わせた成績はそこそこ。物理学の道に進んだのも、数学と物理そして何故か世界史しかできないという消去法的な理由からだという。いわゆるエリートコースを歩んだ学者ではなかった。

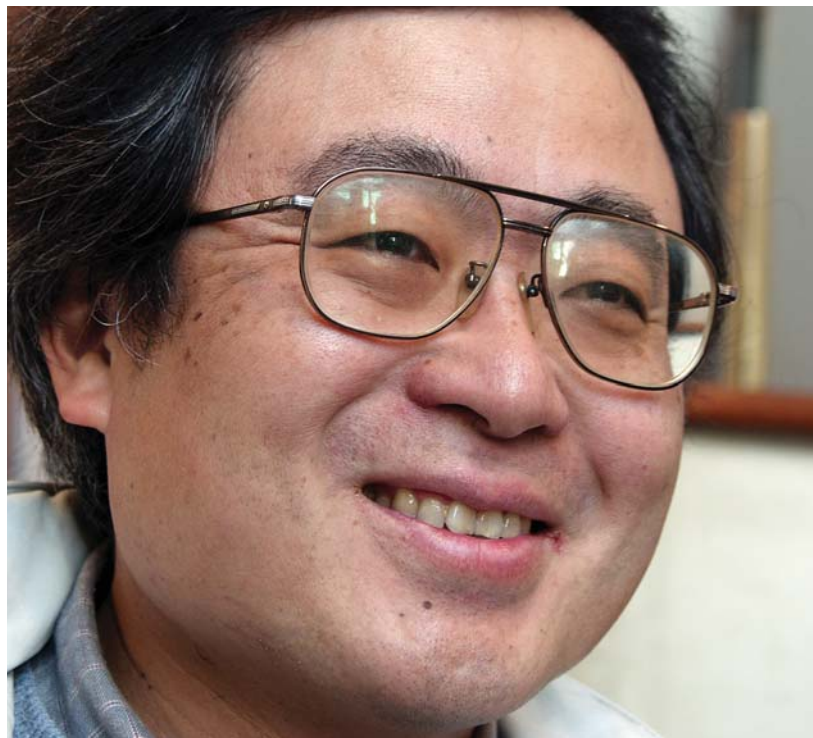
特に大学で研究をつづけるのでもなく、学部を卒業すると半導体を扱う民間の会社に就職した。配属されたのは試作部門。しかし彼は与えられた仕事をきっちりこなすタイプではなかったようで、会社の試作品を使っでは別の製品を作り、常に上司には目を付けられていたという。たまたま作った製品がよい結果を出したことがきっかけで、彼は研究部門へ回されることになった。そしてこれが彼の転機になった。会社から金をもらって好きなことができる。そう考えた彼は猛烈に研究を始めた。そして在職中に後に半導体部門の世界的な特許となる発明をし、学会にデビューする。だがこのとき彼の年齢は30歳。早い人なら学部生の20代前半で学会にデビューし、博士号をとるこの世界では彼は全くの遅咲きだ。

だが、このハンディーがかえって彼の努力を促した。その後、彼は会社人間としての限界への疑問もあり、退社して米国

人と米国に新しい会社を設立する。しかし、特許はあってもそれだけで食べてゆける訳ではない、こんな危機感も彼の精進を助けることになる。半導体の分野で行った発明をビジネスに結びつけるにはどうすればいいか。こんなところから全く畑違いの経営学を独学で勉強し、それが認められての今回の客員教授である。

現在の藤村さんは10月からの講義の準備をしながら、毎朝、時差のある米国と電話で連絡をとる。また、本の出版が契機となって、国や国からの委託委員会の講演を毎月のようにこなす、米国へも平均して2ヶ月に一度という多忙な毎日だ。

ルールに乗らず、我流、独学で自分の夢に近づく人もいる。早咲きだけが人生ではない。藤村さんのインタビューは何かあたらしい価値を見せられたような気がした。【松村】



サークルアンケート調査にご協力をお願いします。

ベイトウンでは、これまでに様々なグループが活動を行っていますが、最近ではその数も増え、どんなグループが活動しているか把握できなくなっています。今回、ベイトウンニュースでは、新しい住民のみなさんからの要望もあり、ベイトウン内のサークル情報をまとめた「BTサークル便利帳（仮称）」の作成を計画しています。

「BTサークル便利帳」は、広くサークル情報を提供し、「何かやりたいんだけど、どんなサークルがあるんだろう」という方と、「私たちのサークルをもっと知ってもらって仲間を増やしたい」というサークルをつなぐ役割を果たしたいと考えています。

そこで、現在サークル活動をしているグループにお願いします。便利帳で紹介させていただく、基礎データとして右の項目にお答えください。スポーツ活動、ボランティア活動から趣味のサークル活動、各種教室まで、ベイトウン内で活動しているグループならどんなグループでも結構です（ただし、宗教団体・政治団体は除く）。

★お手数ですが、1～3いずれかの方法でアンケート回収にご協力ください。

1. アンケートの内容をP6に記載された編集委員のメールボックスに投函する。
2. アンケートの内容を編集委員へファックス、あるいはメールで送る。
3. アンケートの内容をファミリーマート、ヤンマー、リンコス、デイリーヤマザキ、ベイトウン・コアに設置してある青い投書箱に投函する。

※1と2はどの委員宛ても構いません。

※アンケート回収後、内容の確認等ご連絡を差し上げるかもしれません。

サークル調査アンケート

1. サークル名
2. 代表者名
3. 連絡先（住所・電話番号、あればメールアドレス、ホームページURL）
4. 活動内容
5. 活動日（毎週火曜日とか、月何回くらいとか）
6. 活動場所
7. 会員の年齢層
8. 会費等諸費用
9. 会員募集中かどうか
10. 子連れ参加が可能かどうか

◇サークルのPRをひとこと

★あれば写真1枚（返却不要のもの）添付

櫻楓会(目白の女子大同窓会)ベイトウン支部(→希望的仮称)メンバー募集!!

ベイトウンにお住まいで、お心当たりの方は、ぜひ下記までご連絡ください。ベイトウン内のどこかで、お茶でもしながら親睦を深めたいと存じます。

連絡先: 北田美香(シータワー・新34回生) Tel. 043-275-8040
角幡玲子(6番街・新28回生) Tel. 043-211-0571

パティオス 20 番街第 2 次募集

公団の賃貸住宅「パティオス 20 番街」は、この 6 月に第 2 次(100 戸)の募集を行います。

ご好評をいただきました昨年 11 月の第 1 次募集(88 戸)に引き続きの募集となりますが、これまでにお伝えした住棟内 LAN やリビング・ダイニングでのガス温水式床暖房設備の設置の他、ベイトウン内の公団住宅街区では初めてのオートロック・宅配ボックスも装備されており、快適な生活を送ることができます。

また、ベイトウンの沿道型建物配置の趣旨や多様化するライフスタイルに合わせ、1 階部分で街路に面した形での開放的なリビングを備えた住宅など、多彩なプランをご用意しております。

20 番街では既にこの 4 月に内科医診療所・調剤薬局がオープンしており、皆様の日々の生活をサポートしています。

5 月中頃から公団ホームページ・新聞広告等で詳細が告知される予定です。



賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL: 047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは
日本総合住生活(株)千葉支店

都市公団

ベイトウンニュースではサポーターを求めています

お読みいただいているベイトウンニュースは「ニュースサポーター」の手で毎月幕張ベイトウンの全戸に無料配布されています。サポーターはベイトウンに住むボランティアグループで、本誌の発行される毎月第 1 土曜日の午前中、情報交換をしながらベイトウンニュースの折り込みや配布をしています。用のあるときや、気が乗らないときはお休みいただくのも結構という気楽な集まりです。みなさんの力をベイトウンニュースの発行に貸してください。お問い合わせは 10 番街 松村(Tel: 211-6853/E-Mail: mmatz@m2.pbc.ne.jp)、または編集後記に記載の各編集部員の連絡先まで。

■5 年経ち「ニュース」の編集員もそれぞれの得意分野が見えてきて、以前ほどは危なげなくなりました。私の場合、本業と重なるところがあるので、なるべく「仕事」にならないように、高いレベルは保ちつつ、自分が楽しむことを優先したいと心がけています。効率性や合理化、組織化はベイトウンニュースには似合いません。混乱したり回り道することの楽しさ、そこにある豊かさをこれからも大切にしていきたいと思っています。という訳で不手際があっても大目に見て!?

佐藤則子(＃3-310/T&F211-0090)

■キャッチボール、わたしも父親とよくやりました。おもしろいもので、相手は歳とともに変わります。中学生ともなれば友だちになり、結婚してからは妻ともやりました。いまは自分の子どもたちですね。仕事でたまたま精神医学のことをかじっているせいか、ふだんなんの気なしにやっているキャッチボールにじつは人格形成上多大な意味があるんじゃないか、なんて考えてしまいます。

茂木俊輔(＃7-305/T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp)

■犬を飼い始めた。散歩をしていてとても気になることは、落ちていたフンの多さと犬を放し飼いにしている人たちである。先日ベイトウン内で、知人の犬が引き綱なしで散歩させていた大型犬にかみ殺される事件があって、犬を殺された母娘は精神的なショックを受けていた。どうやら本当にしつけが必要なのは、犬ではなく飼い主である人間のほうだと感じた。

金一剛(＃3-220/T&F211-0388/ikkim@xa2.so-net.ne.jp)

■今回のベイトウンミュージックフェスタ、4/7 の方を拝見したのですが、出演グループの多彩さと、その 1 グループが演奏する曲のレパートリーが多く、とても楽しめました。ハワイアン演奏のスチールギターは初めて聴いたので、音の伸びと響きに驚き、感動しました。打瀬中吹奏楽部の生徒の感想も「自分たちが演奏できたのも嬉しかったけれども、たくさんの人たちのいろいろな演奏を聴けたのが、とても楽しかった」とのこと。これからも、コアではいろいろなイベントが開かれます。大人も子どもも、いろいろな文化に触れ“見て・聴き・知る”チャンスが増えました。

浜田貴代子(公園東 atmark@pop01.odn.ne.jp)

■ベイトウンミュージックフェスタ取材した。1997 年の秋に、住民が主体となって開催された「小さなコンサート」を思い出した。当時は、良いハードがないため、打瀬中学校の図書スペース(マルチパーパスホール)を使うこととなったが、コンサートを想定して作られた場所ではないので、書架を外して移動したり、体育館からパイプ椅子を移動したり、けっこうステージを作るまでが大変だったと記憶している。今回、住民たちの活動が実り、あんなに素晴らしいハード(ホール)で、しかもそれに負けないソフトでのフェスタ開催に至り、当時の苦労を思い返して感慨に耽っている人も多いのではないかな。あの時から、道は脈々と続いている。

板東司(＃1-210/T&F211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp)

■「まくはりベイトウンニュース」は今月号で 60 号、満 5 周年を迎えました。創刊当時は第二号が出るかどうか危うい状態の船出でしたが、なんとか目標とした 10 年の半分まで来たことになります。ベイトウンニュースがここまで来られたのは、ベイトウン住民のみなさまのご支援によるものです。編集部より改めて御礼を申し上げます。

松村守康(＃10-612/T&F211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp)

いいものだけを世界から



smart

今を走る。これをスマートといいます。
smart
¥1,270,000~



Photo: smart coupé



Mercedes-Benz

ショートボディー。でもしっかりメルセデス。
A160
¥2,250,000~



Photo: A160



ワゴンを超えた
スポーティな走り。
A4 Avant
¥3,790,000~



Photo: A4 Avant 2.0

このアウディは道を選ばない。
allroad quattro
¥5,990,000~



Photo: allroad quattro 2.7T

あざやかな
個性を一堂に。
ヤナセの
モーターショウです。



Photo: VITA GLS

OPEL

キュートなボディに装備満載。
VITA
¥1,690,000~



CHEVROLET

精悍、快感、アメリカン。
TRAILBLAZER
¥3,490,000~



Photo: TRAILBLAZER LTZ



スウェーデンの美と知性。
9-5 Estate
¥4,600,000~



Photo: 9-5 Aero 2.3TS Estate

今度の週末、
ぜひお越しください。

ベイタウンまつり 5/11 Sat. 10:00a.m.~4:00p.m.

YANASE
メイフェア

オペル/GM

ヤナセ千葉本店

〒263-0051 千葉市稲毛区園生町 387-1

Tel.(043)287-3714

5/11 Sat. 12 Sun.
10:00a.m.~6:00p.m.

メルセデス・ベンツ/アウディ

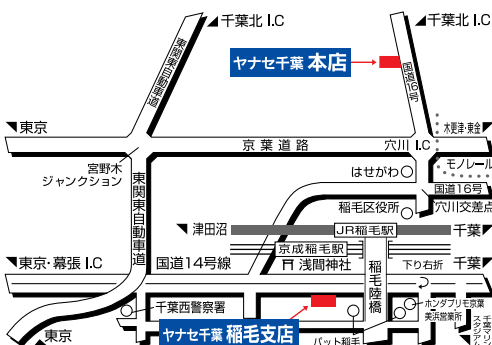
ヤナセ千葉 稲毛支店

〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸 2-1-89

●メルセデス・ベンツ Tel.(043)242-5241

●アウディ Tel.(043)242-5245

●メイフェアにご来場いただいた方には、素敵なプレゼントをさしあげます。



※表示価格は平成14年5月1日現在の車両本体価格です。価格にはスペアタイヤ、標準工具一式が含まれますが、付属品価格、税金(消費税等)、保険料、登録に伴う諸費用等は含まれておりません。※メイフェアご来場プレゼントは数に限りがございます。品切れの際はご容赦ください。

good new days
人間らしい美しい未来を

ヤナセ
www.yanase.co.jp